

## 島嶼のエコツーリズムと世界自然遺産：奄美群島の事例を中心に

著者	宋 多情
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲人社研第36号
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00030297">http://hdl.handle.net/10232/00030297</a>

平成30年2月9日

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科長 殿

最終試験の概要及び結果報告書

地域政策科学専攻 氏名 宋 多情

学位論文題目

島嶼のエコツーリズムと世界自然遺産—奄美群島の事例を中心に—

(Ecotourism and World Natural Heritage in Islands of Japan: with a focus on the case of the Amami Islands)

最終試験の概要

学位(博士)論文に関する最終試験を平成30年2月3日に実施した。まず、申請者による学位申請論文の内容説明の後、下記5名の審査委員から論文内容に関しての質疑と、申請者による応答を行った。

申請者の論文は、奄美のエコツーリズムに関して、「ホスト」である「行政」「ガイド」「地域住民」の視点から、屋久島や小笠原諸島、西表島との比較も取り入れて考察した事例研究である。

最終試験では、まず、先行研究における論文の位置づけや問題設定、「ホスト」の視点からエコツーリズムを捉えた切り口が評価された。又、最も高く評価されたのが、全ての島々の「ガイド」に関する定量的および定性的調査により得られた資料の詳細な記述と緻密な議論の展開であった。

その一方で、世界自然遺産とエコツーリズムの関係やガイド同士の関係をガイドになる前の段階からみていくガイドの形成史について踏み込んだ分析が足りない点、ガイドの立ち位置の違いの掘り下げた描写と分析が足りない点、海域のガイドが含まれていないことなどについて委員から質問がなされたが、これらに対しては一定の水準を満たす回答が得られた。

以上により、博士(学術)の学位を与えるに十分な学力と見識を有するものと認定した。

授与する博士学位 学術

最終試験結果 合

試験委員

主査 梁原季雄

副査 萩野 誠

副査 渡辺芳郎

副査 須山 聡

副査 山本宗立